

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	38	大学等名	岐阜工業高等専門学校
テーマ	テーマ I・II 複合型		

### 【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

### 【コメント】

#### <優れている点>

- ・教員目線と学生目線の双方を用いて教育改善に取り組み、さらに、シニア OB も教育的リソースとして活用していることは評価できる。
- ・アクティブ・ラーニング (AL) の活用がシラバスで可視化されており、授業外学修においても AL を推進している。教員のみならず職員も全員参加で FD・SD を行っていること、授業外学修時間が確実に増加していることも評価できる。
- ・AP の高専選定校との連携や地域との連携など、積極的に情報発信していることは評価できる。

#### <改善を要する点>

- ・在学生、企業、保護者等にアンケート調査を行っていることは評価できるが、実施に留まっており、それらが改善につながっている事例が少ない。また、パソコンやタブレットの購入も含め、環境整備に力点が置かれているが、深い学びを促す授業自体の改善やカリキュラム改善に取り組んでいく必要がある。
- ・事業の評価については、外部有識者や保護者による評価の内容や、その全体像が不明である。また、学生の技術士 1 次試験の合格をもって改革が機能しているというのは少し短絡的ではないか。得られた成果をアクションに生かし、学生に還元することが必要である。
- ・システム開発が先行しているが、それを活用する体制や方法について、更に検討する必要がある。
- ・事業成果の普及の手法として、科学研究費や海外学会での報告等があげられているが、個人の研究活動と本事業の成果が混同されて発信されている懸念がある。AP 選定校としてより広く大学関係者に成果報告ができる場を設ける必要がある。